



春の全国交通安全運動 人力車に乗って交通安全を訴える!

「やさしさが 走るこの街 この道路」をスローガンに、平成19年春の全国交通安全運動が5月11日から20日までの日程で実施されました。

初日の11日、角館町の桜木内川沿いの桜並木駐車場をスタートした交通安全を呼びかける車両パレードでは、武家屋敷通りの区間で「交通安全」ののぼり旗を掲げた3台の人力車も加わり、市民や観光客に交通安全を訴えました。

田沢幼稚園児が交通安全を呼びかける

5月16日、田沢幼稚園の園児14人が、警察官の服装で祖父母宅や事業所を訪問し、交通安全を呼びかけました。

これは、5月11日から始まった春の交通安全運動の一環として行われたもので、警察や交通安全協会田沢支部の関係者のみなさんの協力で実施しました。

当日は、市役所田沢湖庁舎を訪れ、園児手作りの交通安全を呼びかけるポスターとチラシが田沢幼稚園のみなさんから「交通安全お願いします」と元気のいい声といっしょに石黒市長に手渡されました。



田沢湖庁舎前で記念写真を撮影しました

刺巻湿原まで仮設歩道を設置



テープカットをして仮設歩道の完成を祝いました

刺巻湿原ミズバショウまつり実行委員会では、国土交通省角館国道維持出張所などの協力で、歩行者用の安全な新たなルートを開設しました。

これまでは、JR刺巻駅から歩道のない国道46号の路側帯を約1km歩いて刺巻湿原のミズバショウに向かっていましたが、国道維持出張所の協力によって仮設の歩道が設置されたほか、実行委員会のみなさんが作業道などを整備した通路や国道46号の旧道を利用して湿原まで安全に歩いて向かえるルートができました。

4月21日には、新たなルートの完成を祝って、田沢湖交番の高橋交番長やJR田沢湖駅の伊藤駅長、地元の方によってテープカットが行われました。

また、24日に開かれた「みち懇話会」には、国道維持出張所や警察、羽後交通、JR東日本などの関係者が参加し、安全対策と今後の整備について、それぞれの立場から意見が出され、来年度に向けて活発な議論が交わされました。